



令和2年度全事業所 事業報告

施設長 柿 添 信 義

令和2年度事業報告

社会福祉法人同仁会

1. 社会福祉法人同仁会経営の原則

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 介護の基本理念

高齢者が自らの意志に基づき自立した質の高い生活を送ることができるように支援していく。(自立支援の原則に沿って利用者個々の QOL の向上を目指す。)

3. 施設の理念及び方針

- (1) 利用者に対して尊敬の念を持ち、個性を尊重し利用者、家族の意向を十分取り入れた介護計画に沿って、利用者個人がサービスを決定できるよう援助し、より良いサービス提供に努める。
- (2) 地域への貢献を念頭に、家族・地域住民との連携を密にし、情報の公開、提供及び施設開放に努める。
- (3) 施設は、適切な経営を行えるよう研鑽を重ね、基盤強化、効率化に努める。
- (4) 個人情報保護の遵守

4. 今年度最重点目標

気持ち良いあいさつをしよう！

利用者・ご家族の願い（思い）を実現しよう！

職員間の連携・敬う気持ちを大切にしよう！

- 利用者様中心に（小さな変化を見逃さない）
- ケアの質の向上
- ガバナンスの強化・コンプライアンス維持の徹底
- リハビリテーションの充実
- OJT・エルダー制度の確立（新人教育及び外国人教育の充実）
- 「かごしま子育て応援企業」「ユースエール認定」としての誇りをもって

平成元年12月に発生した新型コロナウイルスの出現により、施設運営も大きく舵を切る運命となりました。インフルエンザで苦労した経験から早目のご家族等の面会制限を実施しましたが、今日現在面会制限を解除することができませんでした。ご家族はもとより入所者の皆様にとってもご家族の顔を見られないことへのストレスはかなりのものかと心配しているところです。ただ、ラインでの面会や施設での窓越しでの面会等色々工夫しての支援を実施しているところです。今のところトラブルもなく、大変喜んでいただいています。「不要不急」の外出を控え、「密にならない習慣化」等職員に対してもコロナ対策会議の中で重々指示しているところです。ウイルスの侵入阻止を厳守していきたいと思えます。

【新型コロナウイルス対策について】

今のところ施設・事業所にウイルスの侵入は阻止出来ている状況ではありますが、施設以外でのさつま町内の感染者の関係から数日休むケースがありましたが、職員たち独自で色々工夫をしてくれた取り組みでそれ以上の心配するようなことはありませんでした。しかしながら夜間不要不急の外出は避けるよう指示していましたが、それが守られず保健所に連絡する事態となったことは遺憾でありました。幸いのことにPCR検査にて陰性と診断され安心いたしました。保健所の指示にて2週間の自宅待機を命じられました、思わぬ戦力ダウンで皆には心配かけました。今後このようなことがなきよう強く指導していきたいと思

っています。月2回程度のコロナ対策会議の中で初動やゾーニングのシミュレーションを実施し有事に対する対策を行っています。

【リスク管理】

1件の大腿骨頸部骨折の事案が発生したが、それ以外では大きな事故の発生はなかった、ヒヤリハットを含む事故報告がかなりの数値として報告があり、小さなヒヤリハットから大きな事故につながることを念頭に入れ職務に励むよう指示する。昼夜に関わらず利用者の無断外出が発生し、1件の事例は、ショートステイの利用者が無断外出をされ外部の方が発見し、自宅まで送り届けていたということがありました、幸いなことにけがもなかったが、夜勤者がしばらく気づいていなかったことは大いに反省すべき事案であった。

【入所待機者】

さつま町の人口減により高齢者の数も減ったかというところではなく、人口は減ったが高齢者の数は横ばいというデータが出ており、今のところ入所待機者の数としては変化は見られない。町内3施設で入所判定委員会の前に待機者の打ち合わせをしており、実質的な待機者となっている。待機者家族と定期的に連絡を取っており好意的に入所に繋がっている。(平均40名程度)

【イベントの開催について】

コロナの影響で施設運営も大きく舵を取ることであり、これまでのようなイベントや会議・研修会等軒並み中止或いは延期となった。地域とのつながりのある「納涼大会」は中止とし、「敬老会」は来賓やご家族の参加をお断りし、職員だけの開催とした。職員たちの創意工夫により利用者の方々も喜んでいただき大いに盛り上がり終了となった。密になる可能性が高いことより法人研修等中止にせざるを得なかった。

【人材確保について】

4月に薩摩中央高校より新卒者を迎えることができ、施設自体が明るくなったような気がします、また、6月には経験豊富な管理栄養士を迎え、今年1月には機能訓練士として作業療法士を迎えることが出来ました。両名とも独自の考えで利用者にとってプラスになるよう努力してくれているようです。国のモデル事業として外国人雇用を推し進めて2名のフィリピン人を採用することになりました。今後あと2名の外国人雇用を考えていますが、コロナの関係でいつ来日できるかはわからないとのこと。残念なことに自己都合を含め3名の辞職者を出してしまいましたが、これからも辞職者を出さない施設作りに努めてい

きたいと思います。

【働き方改革】

一昨年から始まりました「働き方改革」は、ある程度職員には浸透し、計画的休暇を付与出来ているようです。職員配置に苦戦することもあります。入浴や行事等に工夫を凝らし、何とか乗り切っている状況です。これまでリフレッシュ休暇を8日間与えていましたが、厳しい現実も多く見られることより、来年度より5日間に変更することで職員には協力してもらうことに致しました。

【腰痛防止対策】






これまで言葉だけで腰痛防止を指示してきましたが、これでは腰痛防止につながらないと判断し、ハード面での充実を図り、腰痛防止につながるよう「リフト」を2台購入し、移乗用のボードや布を導入することで腰痛軽減を図るようにしました。職員からはだいぶ楽になってきたと好評である。今後さらにロボットなどを導入し更なる腰痛防止につなげていきたいと思っています。

【社会貢献】

さつま町内の社会福祉法人が協力体制を組み、生活困窮者に対して生活支援を行うべき実施していると同時に組織役員も兼ねていることもあるが鹿児島県社会福祉法人経営者協議会の「おもいやりネットワーク」の中拠出金で県内の生活困窮者に対して現物給付ではあるが生活支援を実施している。これまでかなりの実績があり、県内でも注目されている事業である。年々協力法人も増えているようである。

【収支バランス】

施設では年度初めよりコロナウイルスの影響もあり入院者が少なく経営的にも良好であったが、徐々に入院者が増え始めたため空きベッドの利用により短期入所生活介護の利用者を増やしていく努力をしてきました。そのためショートステイの需要が多く職員たちも苦労したようですが、何とかこれまで頑張ってくれました。収支的にはいまだ厳しい面がありますが、何とかとんとんに落ち着いたようです。在宅部門では居宅介護支援事業所の新規利用者が多く今年度はプラス収支になったようです。デイサービス及びヘルパーステーションはわずかではあるがプラス収支になり総体的には若干のマイナスになりましたが、今後経費節減を厳守しプラス収支に努めていきたいと思っています。

理事長	施設長	副施設長	事務長	総務課長
				

令和 2 年度 法人本部事業報告

社会福祉法人同仁会

令和2年度 事業報告書

1、会務の状況

(1) 理事会、評議員会、監事監査・評議員選任解任委員会等の状況

1) 理事会

① 第1回理事会

日時 令和2年6月5日(金) 14時00分から15時30分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 令和元年度事業報告の承認について

第2号議案 令和元年度収支決算の承認について

第3号議案 令和2年度第1回評議員会の開催(案)について

第4号議案 評議員選任・解任委員の選任(案)について

【報告事項】 ・職員の異動について

② 第2回理事会

日時 令和2年10月30日(金) 14時00分から14時30分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 令和2年7月豪雨災害義援金の承認について

第2号議案 令和2年度第1回理事長及び業務執行理事の業務執行報告について

【報告事項】 ・令和2年度における指導監査(書面監査)結果について
・職員の異動について

③ 第3回理事会

日時 令和2年12月11日(金) 14時00分から14時40分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 令和2年度 第1次補正予算(案)の承認について

第2号議案 令和2年度 第2回評議員会の開催(案)について

④ 第4回理事会

日時 令和3年3月10日(水) 14時00分から16時00分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議 案

- 第1号議案 令和2年度第2次補正予算(案)の承認について
- 第2号議案 令和3年度事業計画(案)の承認について
- 第3号議案 令和3年度当初予算(案)の承認について
- 第4号議案 就業規則一部改正(案)の承認について
- 第5号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)の承認について
- 第6号議案 経理規程一部改正(案)の承認について
- 第7号議案 評議員選任・解任委員の解任及び選任(案)の承認について
- 第8号議案 令和2年度第3回評議員会の開催(案)の承認について
- 第9号議案 令和2年度第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告(案)について

【報告事項】 ・職員の異動について

2) 評議員会

① 第1回評議員会

日 時 令和2年6月19日(金) 14時00分から15時00分
場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案

- 第1号議案 令和元年度事業報告の承認について
- 第2号議案 令和元年度収支決算の承認について

【報告事項】 ・職員の異動について

② 第2回評議員会

日 時 令和2年12月18日(金) 14時00分から15時00分
場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案

- 第1号議案 令和2年度第1次補正予算(案)の承認について

【報告事項】 ・令和2年度における指導監査(書面監査)結果について
・令和2年7月豪雨災害義援金の承認について
・令和2年度第1回理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
・職員の異動について

③ 第3回評議員会

日 時 令和3年3月17日(金) 14時00分から16時00分
場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議 案

- 第1号議案 令和2年度第2次補正予算(案)の承認について
- 第2号議案 令和3年度事業計画(案)の承認について
- 第3号議案 令和3年度当初予算(案)の承認について
- 第4号議案 就業規則一部改正(案)の承認について
- 第5号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)の承認について
- 第6号議案 経理規程一部改正(案)の承認について

- 【報告事項】
- ・評議員選任・解任委員の選任について
 - ・令和2年度第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
 - ・職員の異動について

3) 監事監査

- 日 時 令和2年5月29日(金)
- 場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
- 内 容
 - ・社会福祉法人同仁会役員等の業務について
 - ・令和元年度事業及び決算について

4) 内部経理監査

- 日 時 令和2年10月23日(金)
- 場 所 さつま園事務所及び地域交流室
- 業 務 会計処理等について
- 実施者 施設管理次長 井ノ原 邦彦
業務管理次長 上原 耕三

5) 評議員選任・解任委員会

- 日 時 開催無し

2. 総務・事務

目標

- ①物品係との連携を図り、発注漏れの無いようにする。
- ②価格調査を実施し、経費節減を図る。
- ③年休簿・特休簿の更新を確実に行う。
- ④研修の把握をする。
- ⑤節電・節約を周知する。
- ⑥健康診断・腰痛検査等の予定を早期に計画する。
- ⑦来園者への丁寧な接客を行う。
- ⑧福利厚生の実施を図る。

反省

- ①物品係と常に連携を取り、発注漏れ等は無くスムーズに行えた。
- ②価格調査は、物品毎に行い同じ質で安価な物を提供できた。
- ③年休簿・特休簿の更新は確実に言い、年休 10 日以上付与されている職員に対し声掛けを行い年休 5 日取得が確実に出来た。
- ④ 職員一人一人の研修会参加の把握は出来ていた。今年度はオンライン研修がほとんどであったため、研修会に出向いていくことは少なかった。
- ⑤ 節電・節約の周知は行えたが徹底出来ていない事もあり、再度周知徹底を行い経費節減に取り組んでいく。
- ⑥ 健康診断・腰痛検査は予定通りの実施が出来ていた。
- ⑦ 来園者の方へは、常に笑顔で好感のもてる挨拶を心懸けて実施出来ていた。面会希望の方へ聞き取り調査を行い、安全に窓越し面会をしていただくことができた。
- ⑧ コロナ感染症対策で不要不急の外出を制限するなど職員が必死に侵入を防いできた労を労い職員対象に抽選会を計画し、福利厚生充実を図った。

3. 事業の成果

(1) 固定資産取得支出

①器具及び備品

- ・特別養護老人ホームさつま園 電気温水器 2 台
金額 352,000 円 (税込)
- ・特別養護老人ホームさつま園 床走行式リフト 2 台
金額 1,396,000 円 (非課税)
- ・特別養護老人ホームさつま園介護職室 洗面台一式
金額 234,000 円 (税込)
- ・特別養護老人ホームさつま園 ティルト&リクライニング 連動式車椅子 3 台
金額 460,980 円 (非課税)
- ・特別養護老人ホームさつま園 ティルト&リクライニング 車椅子介助型 2 台
金額 279,320 円 (非課税)
- ・さつま園デイサービスセンター ティルト&リクライニング 連動式車椅子 3 台
金額 460,980 円 (非課税)
- ・さつま園デイサービスセンター 49 型液晶 TV 1 台
金額 185,000 円 (税込)
- ・居宅介護支援事業所さつま園 パソコン一式
金額 249,622 円 (税込)

(2) 消耗器具备品費・修繕費・福利厚生費等

①消耗器具备品費

- ・特別養護老人ホームさつま園
フルリクライニング車椅子 2 台 金額 125,900 円
エアマットレス 83cm幅 2 台 金額 157,300 円
テーブル (利用者食事用) 12 台 金額 176,000 円

蛇口自動水栓 10 台	金額 612,500 円
・ さつま園デイサービスセンター	
フルリクライニング車椅子 2 台	金額 125,320 円
テーブル (利用者食事用) 8 台	金額 121,000 円
蛇口自動水栓 4 台	金額 187,500 円
・ さつま園ヘルパーステーション	
移乗ボード 5 台購入	金額 165,000 円

②修繕費

・ 特別養護老人ホームさつま園	
浄化槽修繕工事一式	金額 330,000 円
ボイラー用ライポンプ (お風呂用) 交換一式	金額 330,000 円
吸収冷温水機不具合修繕作業一式	金額 693,000 円
浴室水栓器具交換作業一式	金額 136,400 円
動力盤電気部品交換一式	金額 165,000 円
吸収冷温水機溶液フィルター工事一式	金額 165,000 円
・ さつま園デイサービスセンター	
小便器取替一式	金額 200,000 円

③福利厚生費

・ 法人本部	
役員賠償責任保険	金額 82,000 円
・ 特別養護老人ホームさつま園	
看護師傷害保険料 (5 名)	金額 16,160 円
職員一般傷害保険料	金額 452,560 円
健康診断料 (夜勤者 21 名)	金額 147,620 円
腰椎検診料 (年 2 回)	金額 321,062 円
インフルエンザ 予防接種代 (58 名実施)	金額 77,500 円
健康診断料	金額 352,350 円
検便代	金額 42,680 円
職員抽選会経費	金額 281,056 円
雇い入れ時検診料	金額 21,760 円
永年勤続表彰 (4 名)	金額 63,000 円
・ さつま園デイサービスセンター	
腰椎検診料 (11 名実施)	金額 49,742 円
インフルエンザ 予防接種代 (11 名実施)	金額 17,000 円
健康診断料 (11 名)	金額 76,860 円
検便代	金額 9,680 円

・さつま園在宅介護支援センター		
インフルエンザ 予防接種代 (1名分)	金額	4,000 円
健康診断料 (1名分)	金額	7,119 円
・さつま園ヘルパーステーション		
インフルエンザ 予防接種代 (6名分)	金額	6,000 円
健康診断料 (1名分)	金額	6,804 円
検便代	金額	30,800 円
・居宅介護支援事業所さつま園		
インフルエンザ 予防接種代 (2名分)	金額	5,000 円
健康診断料 (2名分)	金額	13,608 円

(3) 備品処分

・特別養護老人ホームさつま園

名 称	数量	取得年月日	令和3年3月末 帳簿価格
配膳車	1	昭和58年3月1日	1円
卓上小型滅菌機	1	昭和58年3月1日	1円
肩関節輪転機	1	昭和58年3月1日	1円
手指消毒器 (大型)	1	平成5年6月1日	1円
手指消毒器 (小型)	1	平成5年6月1日	1円
事務用皮椅子	1	平成9年10月1日	1円
自動伴奏器	1	平成10年3月1日	1円
電動ベッド	1	平成12年1月1日	1円
おむつ交換車	1	平成12年2月1日	1円
ノートパソコン (FMV)	1	平成12年4月1日	1円
ノートパソコン (FMV)	1	平成12年6月1日	1円
電気温蔵庫	1	平成13年3月1日	1円
包丁まな板殺菌庫	1	平成13年3月1日	1円
ノートパソコン(NE5/60C)	1	平成13年3月1日	1円
マットプラットホーム	1	平成14年3月1日	1円
ファックス	1	平成15年5月1日	1円
ノートパソコン	1	平成16年1月1日	1円

・さつま園デイサービスセンター

名 称	数量	取得年月日	令和3年3月末 帳簿価格
マイクロウェルダ	1	平成10年3月1日	1円
手指消毒器	1	平成10年3月1日	1円

名称	数量	取得年月日	令和3年3月末 帳簿価格
レーザーディスク	1	平成10年3月1日	1円
ビデオカメラ	1	平成10年3月1日	1円
コールドテーブル	1	平成10年3月1日	1円

・さつま園在宅介護支援センター

名称	数量	取得年月日	令和3年3月末 帳簿価格
作品展示ケース	1	平成10年3月1日	1円
ファックス	1	平成10年3月1日	1円
パソコン(デスクトップ)	1	平成12年3月1日	1円
自動原稿送り装置	1	平成12年3月1日	1円

・さつま園ヘルプステーション

名称	数量	取得年月日	令和3年3月末 帳簿価格
冷蔵庫	1	平成10年3月1日	1円

・居宅介護支援事業所さつま園

名称	数量	取得年月日	令和3年3月末 帳簿価格
ノートパソコン(NE5/60C)	1	平成12年4月1日	1円

(4) 介護保険事業

1) 施設・各事業所

①介護老人福祉施設(特別養護老人ホームさつま園)

利用者定員 70名(従来型個室20名)(多床室50名)

・延べ利用者数 24,025名(65.82人/日)稼働率94.03%

前年度比102.3%(544名増)

さつま園会計支出按分比率 86%

②短期入所生活介護事業(ショートステイ)

利用者定員 10名

・延べ利用者数 3,959名(10.85名/日)稼働率109%

前年度比96.8%(129名減)

ショートステイ会計支出按分比率 14%

③通所介護事業所（さつま園デイサービスセンター）

利用者定員 40名

・延べ利用者数	8,045名	(26.46名/日)	営業日数	303日
介護延べ	4,319名	前年度比	92.5%	304名減
予防延べ	3,224名	前年度比	109.6%	295名増
総合事業延べ	502名	前年度比	73.6%	180名減

④訪問介護事業所（さつま園ヘルパーステーション）

・延べ利用者時間	2,703時間	45分	実人数	38名	(前年度比	6名減)
身体介護	600時間	00分	(1,103件)	前年度比	34時間	00分増
生活援助	446時間	15分	(492件)	前年度比	923時間	15分減
身体生活	547時間	30分	(507件)	前年度比	95時間	30分減
総合事業	1,110時間	00分	(1,110件)	前年度比	3時間	00分減

⑤居宅介護支援事業（居宅介護支援事業所さつま園）





・介護計画作成件数

介護給付	935件	前年度比	111.0%	93件増
予防給付	155件	前年度比	125.0%	31件減（事業対象12件含む）
合計	1,090件	前年度比	112.8%	124件増

(5) 委託事業（さつま町委託事業）

1) 在宅介護支援事業（さつま園在宅介護支援センター）

- ・さつま町在宅介護支援センター総合相談業務委託
年間延べ相談件数 97件 前年度比 61.8%（60件減）
- ・さつま町認知症カフェ設置業務委託
新型コロナウイルス感染予防対策のため開催無し
- ・ふれあいサロン、ころばん教室等への参加

理事長	施設長	副施設長	事務長
			

令和 2 年度

さつま園事業実績報告書

(介護老人福祉施設事業)

(短期入所生活介護事業)

令和 3年 5月

さ つ ま 園

令和2年度 評価・反省

施設管理課

1. ケアプランの確実な作成と24時間シートを活用したケアマネジメントシステムの確立。
2. 個人情報保護の管理の徹底に努める。
3. 適切な施設経営を行うための効率化、稼働率の高水準確保に努める。

(長期入院の場合の退所の見極めと利用者及び家族への十分な説明とフォローの実施)

4. 地域との連携を強化し、利用者と地域との交流をもてるように努める。
5. 地域包括ケアシステム推進の観点から、施設での看取り介護についての啓発と実施を図る。
6. 短期入所に関する啓発を図り、利用促進につなげる。
7. 入所待機者の把握に努め、スムーズな入所につなげる。合わせて、地域への啓発・広報を強化し入所待機者の確保を図る。

(評価・反省)

- ・プランの作成が遅れがちであるが、カンファレンスなど検討の機会を持てるように計画を実施している。今後マネジメントを円滑に進めていきたい。
- ・コロナウイルス感染症の影響で地域との連携が十分でなかった。今後も情勢をみながら連携、地域貢献につなげていきたい。
- ・説明の機会の減少などから看取り介護の啓発が不十分であった。厚生労働省の推進するACPと連動しながら看取り介護の啓発に努めたい。
- ・近隣施設との情報交換を行い、入所待機者の把握に努めている。欠員補充については、関係者へ個人情報に配慮した情報提供を行っておりスムーズに入所につながっている。

介護職員

1. 事故がなく、利用者が毎日を安心して過ごしていただけるように努める。
2. 職種間、多床室、個室職員間等、些細なことでも情報共有し、連携を徹底する。

(評価・反省)

- ・コロナの影響も受け、利用者も職員もメンタル面の不安定となる様子があり、落ち着かない様子があった。
- ・介護職員全員で利用者のケアに取り組んだが、人員不足もあり業務に追われる日々も多く、個別ケアに取り組むことが難しかった。
- ・皮膚剥離や内出血等の事故が多く、目立った軽減にはつながらなかった。
- ・職員間での情報共有、連携が不十分で伝達が出来ていないこともあった。

看護職員

1. 利用者の体調変化には早めに気づき、的確な対応に努める。
2. 医療機関との連携を密にし、必要時の適切な対応が出来るように努める。
3. 職種間の連携を図り、必要な医療行為を適切に行う。
4. 看取り介護、中重度者介護に積極的に取り組む。
5. 看護記録を充実させる。

(評価・反省)

- ・利用者の体調面の管理については、早めの気づきと対応が出来るように医師との連携に努めた。
- ・職種間で意見の相違が感じられた場面があり、連携が不十分となったところがあった。
- ・冬季に入り、入院加療を要する利用者が増えた。看取り介護の説明や事前の意思確認の必要性を感じた。

機能訓練

1. 他職種と個々の利用者様の情報を共有し、日常生活の中で訓練を取り入れ、機能維持・向上を図る。
2. 良肢位を徹底し拘縮の進行防止に努める。
3. 機能訓練計画の作成、実施、評価を確実に行う。

(評価・反省)

- ・機能訓練士の配置移動等があったが、業務の引継ぎなどは混乱も少なく比較的スムーズに行うことが出来た。
- ・体交・ポジショニング用クッションを導入したことで良肢位、拘縮の進行に対応することが出来つつある。今後も利用者状態により更新しながら予防に努めたい。

管理栄養士・栄養士

1. 他職員との連携を図る。
2. 利用者様個々の食事形態の評価を随時行っていく。
3. 栄養マネジメント・栄養計画を確実に行う。
4. 厨房内の衛生管理を行い、安全な食事提供をする。
5. 日清医療食品との連携を図る。
6. 利用者様の喜んでいただける食事提供をしていく。
7. 給食委員会での協議事項を反映させる。
8. オレンジカフェの円滑な運営を支援する。

(評価・反省)

- ・管理栄養士の配置により、よりマネジメントがスムーズに進行している。
- ・委託先との連携に努めている。都度必要な問題を改善し、工夫を凝らしながら利用者への安全で美味しい食事の提供に努めている。

専門部

行事レクレーション係

- ① 一年間を通じて利用者様に楽しんでいただく行事の企画とスタッフへの指導
- ② 集団活動の内容を係で構成する（月1回）
- ③ レクレーション会議を定期的開催して活動内容の充実を図る。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

（評価・反省）

- ・ コロナ禍において行事計画がうまく進められない事もあったが、反面、できる範囲で利用者楽しんでいただくことも出来た。
- ・ 係の職員が集まる機会が持てず、行事の内容やその計画の充実が図れないこともあった。また行事後の片づけが出来ていないと感じることもあった。
- ・ 季節ごとの施設内の雰囲気づくりに取り組んで好評であった。

給食係

- ① 利用者様個々に合った食事形態の提供と美味しく安全に召し上がっていただけるように努める。
- ② 食事摂取量・水分摂取量のチェック体制を強化し把握に努める。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

（評価・反省）

- ・ 係を通じ、栄養士との連携を図っている。給食会議などで意見交換を行い、よりよい給食の提供に努めている。
- ・ 食事摂取量や水分摂取量のチェックに努めているが、時にチェック漏れや記録内容のズレが生じており修正を図りながら把握に努めたい。

排泄係

① 看護職員と介護職員の情報共有による一人ひとりに合った対策の検討をし、QOL の向上に努める。
（排泄ケア加算への対応）

② パッド類の有効活用の検討、排泄関連の必要物品の検討、管理及び職員の資質向上につなげる。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

（評価・反省）

- ・定期的な検討会の実施が難しいときがあった。
- ・画一的な排泄ケアになりがちで、回数や時間などより利用者個々に合った支援が必要と感じた。そのために対応など検討、改善を重ねながら実施していきたい。
- ・排泄ケア加算等への対応については、実施状況をみながら検討を行っている。

入浴・衛生管理係

① 利用者様に満足していただけるような入浴を提供する。

② 衛生に十分気をつけ感染予防に努める。

（手袋使用・手洗い・うがいなどのスタンダードプリコーションに努める。）

③ 口腔アセスメント表・口腔ケア実施表を使用して確実な口腔ケアの実施に努める。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

（評価・反省）

- ・全体的には満足してもらえる入浴は出来たと思われるが、カーム館の浴槽の湯張りトラブルから多床室の浴槽を使用する必要性が生じ、その際の連携・調整が困難であった。
- ・入浴時、皮膚剥離など事故の発見が多くみられた。
- ・定期的な浴室の清掃が確実に実施できていなかった。

- ・口腔ケアの実施票の記入漏れが多く、確認できないこともあった。
- ・カーム館と多床室との検討の場数が少なく連携が難しかった。

リハビリ・OT 係

- ① 行事関係の写真の撮影及び壁面構成を確実に実施する。
- ② 全利用者様の機能及び活動性の維持・向上のために、機能訓練指導員との連携に努め、適切な機能訓練が確実且つ効果的に実施できるよう全職種への意識付けを強化する。(関節可動域訓練・ポジショニング・シーティングその他)

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

(評価・反省)

- ・コロナの影響で機能訓練指導員との連携がとれず、活動の幅が狭まった。
- ・体交用クッションを導入し、体交時のポジショニングの状態を写真で掲示するなど、体交・ポジショニングの統一に努めた。
- ・菜園活動は利用者の楽しみとなっていた。収穫できた野菜は、栄養課へ調理を依頼することで、皆で味わうことができ利用者の喜びにつながったようである。
- ・写真の掲示や管理について、業務時間内での整理が難しく、作業が滞ることがある。

物品係

- ① 居室の備品類を把握し、管理に努める。
- ② 車椅子の在庫管理と現状把握を徹底する。(一覧表を作成し活用する。)

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

(評価・反省)

- ・居室担当により管理状態に差があった。在庫備品の持ち出し時のチェック漏れも多く、在庫管理が難しかった。

実習担当係

- ① 実習生が施設に就職したいと思えるような実習指導に努める。
- ② 実習中に事故が起きないように職員同士で連携をとる。

※適宜検討会を開催。記録及び周知に努める。

(評価・反省)

- ・新型コロナウイルスの影響で、実習生を受け入れることが出来なかった。
- ・学校側の依頼に応じ、担当者が学校へ出向き、生徒に介護技術の実技指導を行うことが出来た。実技指導の際、時間的な制約や生徒同士での実技体験を行うため緊張感が保ちにくいと感じた。
- ・事前アンケートに基づき、福祉課の生徒へのアドバイスを効果的に行うことが出来た。

リスク係

- ① 事故・ヒヤリハット報告の検証と防止策の職員への周知に努める。
- ② 定期的な集計により事故防止対策の啓発を行う。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

(評価・反省)

- ・事故の要因となったスタッフが気づけないケースが多かった。
- ・職員間における情報共有が不十分で、類似する内容の事故が報告されることも多く、減少につなが

りにくい様子がある。

- ・役割に固執するあまり利用者への対応が遅れるケースがある。

24 時間シート係

① 24 時間シートの作成

- ① 利用者の日常生活の情報収集を管理する。

(評価・反省)

- ・ 24 時間シートを日常生活の中で活用できておらず、更新作業も殆ど係で行っている現状である。各

利用者の目標の設定やケアにつなげていければと考える。

令和2年度入所・短期入所実績				
月	入所	一日当り	短期	一日当り
R2. 4	1946	64.87	379	12.63
R2. 5	2028	65.42	378	12.19
R2. 6	1942	64.73	362	12.07
R2. 7	2044	65.94	342	11.03
R2. 8	2082	67.16	287	9.26
R2. 9	2006	66.87	289	9.63
R2. 10	2106	67.94	289	9.32
R2. 11	2007	66.9	302	10.07
R2. 12	2028	65.42	304	9.81
R3. 1	1957	63.13	380	12.26
R3. 2	1816	64.86	338	12.07
R3. 3	2063	66.55	309	9.97
総数	24025	65.82	3959	10.85
稼働率	94.03%		109%	

特養入所年齢別利用者数

さつま園

令和2年4月 ~ 令和3年3月

印刷日 令和3年5月25日

年区	齢分	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
~ 59	男						365(12)		365(12)		730(24)
	女										
	計						365(12)		365(12)		730(24)
60 ~ 64	男						30(1)				30(1)
	女										
	計						30(1)				30(1)
65 ~ 69	男						335(11)	145(6)	30(1)		510(18)
	女										
	計						335(11)	145(6)	30(1)		510(18)
70 ~ 74	男							151(5)	491(17)		642(22)
	女							77(3)	153(5)		230(8)
	計							228(8)	644(22)		872(30)
75 ~ 79	男						365(12)		35(2)		400(14)
	女						365(12)	438(15)	555(19)		1358(46)
	計						730(24)	438(15)	590(21)		1758(60)
80 ~ 84	男							426(14)	92(3)		518(17)
	女							825(30)	361(14)		1186(44)
	計							1251(44)	453(17)		1704(61)
85 ~ 89	男						87(3)	891(31)	520(18)		1498(52)
	女						1093(38)	2767(95)	2286(77)		6146(210)
	計						1180(41)	3658(126)	2806(95)		7644(262)
90 ~ 94	男						288(12)	966(35)	1065(38)		2319(85)
	女						1535(51)	2070(73)	1860(62)		5465(186)
	計						1823(63)	3036(108)	2925(100)		7784(271)
95 ~ 99	男							71(4)	321(12)		392(16)
	女							1506(51)	365(12)		1871(63)
	計							1577(55)	686(24)		2263(79)
100 ~	男						365(12)				365(12)
	女								365(12)		365(12)
	計						365(12)		365(12)		730(24)
合計	男						1835(63)	2650(95)	2919(103)		7404(261)
	女						2993(101)	7683(267)	5945(201)		16621(569)
	計						4828(164)	10333(362)	8864(304)		24025(830)

平均介護度: 4.17 男性: 4.15 女性: 4.18

平均年齢: 87.0 男性: 83.0 女性: 88.9

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX(XXX) 前半の数字は延日数。（）内の数字は実人数を表示しています。

短期入所生活介護 年齢別利用者数

さつま園

令和2年4月 ~ 令和3年3月






印刷日 令和3年5月25日

年区	年齢	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
~ 59	男										
	女										
	計										
60 ~ 64	男						55(2)				55(2)
	女										
	計						55(2)				55(2)
65 ~ 69	男										
	女										
	計										
70 ~ 74	男				65(5)		4(3)				69(8)
	女							120(12)			120(12)
	計				65(5)		4(3)	120(12)			189(20)
75 ~ 79	男				16(1)	6(1)	61(7)	118(13)	94(4)		295(26)
	女				3(1)	72(9)	3(1)				78(11)
	計				3(1)	88(10)	9(2)	61(7)	118(13)	94(4)	373(37)
80 ~ 84	男		36(2)		61(4)	138(7)	21(1)				256(14)
	女			33(4)	50(4)	221(12)	15(5)		394(15)		713(40)
	計		36(2)	33(4)	111(8)	359(19)	36(6)		394(15)		969(54)
85 ~ 89	男					4(1)		16(1)			20(2)
	女		3(1)	14(3)	396(26)	20(3)	45(10)	221(19)	18(1)		717(63)
	計		3(1)	14(3)	396(26)	24(4)	45(10)	237(20)	18(1)		737(65)
90 ~ 94	男					76(9)	133(5)	42(3)			251(17)
	女		30(10)		135(16)	461(28)	104(10)	334(25)			1064(89)
	計		30(10)		135(16)	537(37)	237(15)	376(28)			1315(106)
95 ~ 99	男										
	女				10(2)	82(13)	110(17)	44(7)	75(3)		321(42)
	計				10(2)	82(13)	110(17)	44(7)	75(3)		321(42)
100 ~	男										
	女										
	計										
合計	男		36(2)		142(10)	224(18)	274(18)	176(17)	94(4)		946(69)
	女		33(11)	60(10)	735(68)	815(61)	208(32)	750(59)	412(16)		3013(257)
	計		69(13)	60(10)	877(78)	1039(79)	482(50)	926(76)	506(20)		3959(326)

平均介護度: 2.45 男性: 2.74 女性: 2.37

平均年齢: 87.0 男性: 81.3 女性: 88.5

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX(XXX) 前半の数字は延日数。()内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	課長	相談員
				

令和2年度 実績報告・反省

さつま園 デイサービスセンター

<実績報告>

- ・年間延べ利用者数 — 8,045名（前年度比 — 246名増）
→年間延べ利用者数内訳（介護4,319名、総合事業3,726名）
- ・年間実利用者数 — 143名
- ・年間営業日数 — 303日（台風接近の為1日休業・積雪の為1日休業）
- ・年間1日平均 — 26.46名（詳細については別紙記載）

<反省>

・年間の実績においては延べ利用者数が前年度と比較し246名の減であった。新規利用者様は前年度とほぼ変わりなかったが、目立つのは4月～11月までにかけての要介護者の比率低下であった。比率低下に伴い前年度に対する介護利用者数は304名の減となった。コロナウィルスによる利用者様の減少は5月～3月迄に家族等の県外からの帰省に対する2週間の利用制限が盆や年末年始の多い月で6～8名、年間で延べ31名、実19名であった。コロナウィルス感染拡大防止の予防対策会議等により検討し送迎時の検温の実施、37.5℃以上の利用中止や、県外から家族等の帰省があった際の2週間の利用制限、業者や家族の入室制限、一日4回、1回15分以上の換気、送迎終了後の毎日の車内消毒、食事前の手指消毒、おやつ前の洗剤手洗い、マスク着用の声掛け徹底を行っている。今年度も引き続き無期限での感染拡大予防対策の徹底を図っていく。

令和2年度実績報告書

さつま園 デイサービスセンター

年月日	延べ利用者数	実利用者数	介護延べ人数	介護実人数	予防延べ実人数	予防実人数	事業対象者延べ人数	事業対象者実人数	営業日数	1日平均数
R2. 4	682名(-37名)	106名	356名	45名	272名	52名	54名	9名	26日	26.23名
R2. 5	693名(-22名)	107名	362名	46名	276名	53名	55名	9名	26日	26.65名
R2. 6	670名(+5名)	106名	346名	47名	270名	49名	54名	9名	26日	25.76名
R2. 7	721名(+25名)	111名	377名	52名	291名	50名	53名	9名	27日	26.70名
R2. 8	602名(-22名)	111名	319名	52名	248名	54名	35名	8名	23日	26.17名
R2. 9	640名(-46名)	104名	335名	48名	264名	49名	41名	7名	25日	25.60名
R2. 10	718名(-43名)	109名	368名	50名	308名	52名	42名	7名	27日	26.59名
R2. 11	663名(-50名)	108名	347名	51名	278名	50名	38名	7名	25日	26.52名
R2. 12	692名(-17名)	109名	389名	55名	266名	48名	37名	6名	25日	27.68名
R3. 1	583名(-75名)	105名	315名	55名	239名	44名	29名	6名	23日	25.34名
R3. 2	638名(-24名)	108名	369名	54名	249名	46名	44名	9名	24日	26.58名
R3. 3	743名(+47名)	113名	427名	61名	284名	46名	32名	6名	27日	27.51名
計	8,045名	143名	4,319名		3,224名		502名		304日	26.46名

年齢別利用者数

サービス：通所介護
 対象年月：令和2年4月～令和3年3月
 出力対象：サービス記録(請求連動する記録)

年 区	齢 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
	計										
60 ～ 64	男				18(5)						18(5)
	女										
	計				18(5)						18(5)
65 ～ 69	男										
	女										
	計										
70 ～ 74	男										
	女		94(12)								94(12)
	計		94(12)								94(12)
75 ～ 79	男				69(10)		10(4)	53(11)			132(25)
	女				34(9)	29(7)	32(4)				95(20)
	計				103(19)	29(7)	42(8)	53(11)			227(45)
80 ～ 84	男				100(12)	6(3)					106(15)
	女	51(12)	133(35)	354(51)	199(34)	256(26)	114(17)	69(9)	42(6)		1218(190)
	計	51(12)	133(35)	354(51)	299(46)	262(29)	114(17)	69(9)	42(6)		1324(205)
85 ～ 89	男		170(44)	97(22)	85(13)	259(33)	43(5)				654(117)
	女	111(17)	300(73)	757(104)	428(79)	134(12)	103(15)	55(13)			1888(313)
	計	111(17)	470(117)	854(126)	513(92)	393(45)	146(20)	55(13)			2542(430)
90 ～ 94	男	43(12)	76(17)		189(25)	19(3)	207(28)				534(85)
	女	264(42)	219(60)	817(121)	797(103)	98(26)	148(21)	20(2)			2363(375)
	計	307(54)	295(77)	817(121)	986(128)	117(29)	355(49)	20(2)			2897(460)
95 ～ 99	男										
	女	33(6)	50(14)	157(23)	208(29)	371(53)	117(13)				936(138)
	計	33(6)	50(14)	157(23)	208(29)	371(53)	117(13)				936(138)
100 ～	男										
	女				7(2)						7(2)
	計				7(2)						7(2)
合 計	男	43(12)	246(61)	97(22)	461(65)	284(39)	260(37)	53(11)			1444(247)
	女	459(77)	796(194)	2085(299)	1673(256)	888(124)	514(70)	144(24)	42(6)		6601(1050)
	計	502(89)	1042(255)	2182(321)	2134(321)	1172(163)	774(107)	197(35)	42(6)		8045(1297)

平均介護度： 1.07 男性： 1.35 女性： 1.00 平均年齢： 88.6 男性： 87.2 女性： 88.9

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
 XXXX (XXX) 前半の数字は延回数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

年齢別利用者数

サービス：通所介護
対象年月：平成31年4月～令和2年3月
出力対象：サービス記録(請求連動する記録)

年 区	齢 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
	計										
60～64	男										
	女										
	計										
65～69	男										
	女										
	計										
70～74	男										
	女		53(7)								53(7)
	計		53(7)								53(7)
75～79	男				117(17)	2(1)	40(13)	72(12)			231(43)
	女				44(9)	75(15)	29(4)				148(28)
	計				161(26)	77(16)	69(17)	72(12)			379(71)
80～84	男		45(11)		121(16)	77(15)	13(3)	43(10)			299(55)
	女	50(12)	156(41)	365(47)	432(49)	335(43)	164(26)	41(8)			1543(226)
	計	50(12)	201(52)	365(47)	553(65)	412(58)	177(29)	84(18)			1842(281)
85～89	男	20(6)	149(39)	149(27)	122(15)	57(7)	105(17)	21(5)		50(6)	673(122)
	女	152(27)	292(77)	689(100)	520(79)	34(10)	112(16)	13(3)		7(2)	1819(314)
	計	172(33)	441(116)	838(127)	642(94)	91(17)	217(33)	34(8)		57(8)	2492(436)
90～94	男	7(2)	46(13)	78(10)	162(22)	187(15)	2(1)				482(63)
	女	412(67)	290(72)	617(80)	1055(161)	373(62)	45(11)	1(1)			2793(454)
	計	419(69)	336(85)	695(90)	1217(183)	560(77)	47(12)	1(1)			3275(517)
95～99	男					19(2)					19(2)
	女	41(10)			8(1)	26(4)	155(13)	1(1)			231(29)
	計	41(10)			8(1)	45(6)	155(13)	1(1)			250(31)
100～	男										
	女										
	計										
合 計	男	27(8)	240(63)	227(37)	522(70)	342(40)	160(34)	136(27)		50(6)	1704(285)
	女	655(116)	791(197)	1671(227)	2059(299)	843(134)	505(70)	56(13)		7(2)	6587(1058)
	計	682(124)	1031(260)	1898(264)	2581(369)	1185(174)	665(104)	192(40)		57(8)	8291(1343)

平均介護度： 1.07 男性： 1.44 女性： 0.98

平均年齢： 87.7 男性： 85.5 女性： 88.3

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) …… 前半の数字は延回数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
田代	柿添	藤原	石神		

令和2年度

事業実施報告書

さつま園

在宅介護支援センター

さつま園在宅介護支援センター

相談実績票

在宅介護支援センター さつま園

対象期間：令和02年04月01日～令和03年03月31日

作成日付： 令和03年04月14日

1 / 3

I) 相談件数

【全体】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	97	6	3	86	2
相談延人員	97	6	3	86	2
相談実人員	59	5	3	54	2
【通常相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	97	6	3	86	2
相談延人員	97	6	3	86	2
相談実人員	59	5	3	54	2
【ケアマネ相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	0	0	0	0	0
相談延人員	0	0	0	0	0
相談実人員	0	0	0	0	0

II) 相談内容別件数

【通常相談】	延件数	電話	来所	訪問	その他
01 介護・日常生活に関する相談	36	0	1	34	1
01 介護方法に関する相談	0	0	0	0	0
02 本人の心身に関する相談	30	0	1	29	0
03 介護者の心身に関する相談	3	0	0	3	0
04 認知症に関する相談	2	0	0	2	0
05 退院後の生活に関する相談	1	0	0	0	1
06 その他	0	0	0	0	0
02 サービスの利用に関する相談	52	5	2	45	0
01 介護保険サービス	18	2	1	15	0
02 保健福祉サービス	34	3	1	30	0
01 食の自立支援事業	28	3	1	24	0
02 外出支援サービス事業	0	0	0	0	0
03 介護用品支給事業	3	0	0	3	0
04 緊急通報装置事業	2	0	0	2	0
05 徘徊高齢者緊急通報体制整備事業	0	0	0	0	0
06 高齢者福祉電話貸与事業	0	0	0	0	0
07 その他	1	0	0	1	0
03 医療に関する相談	0	0	0	0	0
03 家計に関する相談	0	0	0	0	0
03 家族・社会関係に関する相談	0	0	0	0	0
03 権利擁護に関する相談	4	1	0	2	1
01 成年後見に関する相談	0	0	0	0	0
02 金銭管理に関する相談	1	0	0	1	0
03 消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0
04 高齢者虐待に関する相談	3	1	0	1	1
01 身体的虐待に関する相談	2	1	0	1	0
02 ネグレクトに関する相談	0	0	0	0	0
03 心理的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
04 性的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
05 経済的虐待に関する相談	1	0	0	0	1
06 その他	0	0	0	0	0
04 その他	5	0	0	5	0
計	97	6	3	86	2

※ 年間目標に対する反省点 ※

- ・ 居宅介護支援事業所のケアマネ業務のウェイトが大きく、その問題ケースへの対応に追われた。広く町民への実態把握訪問活動や医療との連携及び民生委員との連絡・連携が十分ではなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策からオレンジカフェの開催を行う事ができなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策から訪問を自粛する必要があり、民生委員や病院を含め積極的な訪問活動が展開できず訪問件数が少なかった。

※ 評価点 ※

- ・ 地域包括支援センターや民生委員および行政機関からの対応依頼に対しては、期限内に迅速な対応を行った。
- ・ 民生委員からの携帯への相談にも公休であっても応対し、要望への対処を遅滞なく行った。
- ・ 問題ケースの対応を行政と一体となり取り組め、積極的なアプローチが図れた。

- ・「ふれあいサロン」や「ころばん教室」への参加を継続的に行い、一般高齢者に対してのレクリエーションや健康体操、福祉相談の実施に取り組みが例年より数は少なかったが行えた。相談を頂ける機会も増えてきた。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
田代	柿添	坂元	石	別府	

令和2年度

実績・反省

さつま園ヘルパーステーション

令和2年度 実績報告

さつま圏ヘルパーステーション

- ◎実動時間 2,703 時間 45 分
- ◎実人数 38 名
- ◎前年度比 73.24% 【△987 時間 45 分】

	時間	件数
身体介護	600 時間	1,103 件
生活援助	446 時間 15 分	492 件
身体生活	547 時間 30 分	507 件
介護予防・総合事業	1,110 時間	1,110 件
合計	2,703 時間 45 分	3,212 件

- ・生活援助 923 時間 15 分、身体生活 95 時間 30 分、介護予防・

総合事業 3 時間少なかった。

身体介護 34 時間増えた。

- ・毎日型の生活援助がなくなり、大幅に少なくなった。

令和2年度 反省

- ・利用者様の状態把握に気をつけて、少しの変化、状態をスタッフ間、ケアマネジャーに報告・連絡できた。
- ・利用者様家族とも連絡を取り合い、状態や相談等を行うことができた。
- ・認知症で被害妄想の方も多くなっています。声かけ、傾聴に努めコミュニケーションをとりながら支援できました。
- ・新型コロナウイルス感染について、さつま園での開催される予防対策会議の内容を再考検討し、訪問時マスク着用、消毒、検温、換気おこなっています。今後も新型コロナウイルスについての情報収集し感染拡大予防対策を徹底します。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
田代	柿添	芳原	石神	吉	藤

令和2年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所さつま園

令和2年度事業実績報告・反省

居宅介護支援事業所 さつま園

介護給付 935件 前年度比 93件増

予防給付 155件 前年度比 31件増（事業対象12件含む）

反省

・前年度と比較し全体的に給付件数が増え相談内容も多岐に渡った。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の対応に追われることも多く、独居や高齢世帯など家族の支援が直接受けられないケースの難しさを感じた。ご利用者、ご家族が安心して生活がおくれるよう様々な関係機関や地域との連携が必要であることを再認識した。

・地域住民へのアプローチが行えず、積極的な相談支援が行えなかった。今後は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、感染対策を行いながら徐々に相談体制を整えていく必要性を感じる。特に認知症の方への支援については、ご家族や地域住民との友好的関係作りが必要であるが、プライバシーに関わる問題もあり問題解決が困難なケースもあった。

今後も、住み慣れた在宅での生活が可能となるよう支援を行い、医療機関やサービス事業所、行政、地域包括支援センター、地域住民などと連携を図り充実した介護支援に繋がるように努めていきたいと思いを思います。